



ALLIANCEBERNSTEIN®

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011

東京都千代田区内幸町二丁目1番6号

日比谷パークフロント14階

TEL: 03-5962-9000(代)

www.alliancebernstein.co.jp

ニュースリリース

2021年3月15日

アライアンス・バーンスタイン – アmerican・インカム・ポートフォリオ 豪ドル建てクラスAA証券(豪ドルヘッジあり) ルクセンブルグ籍/オープン・エンド契約型外国投資信託/豪ドル建て 日本国内での販売開始のお知らせ

【東京-2021年3月15日】 アライアンス・バーンスタイン株式会社(東京都千代田区)(代表取締役社長: 阪口和子)は、2021年3月15日から、アライアンス・バーンスタイン – American・インカム・ポートフォリオ 豪ドル建てクラスAA証券(豪ドルヘッジあり)ルクセンブルグ籍/オープン・エンド契約型外国投資信託/豪ドル建てが、日本国内で販売されることを発表しました。(販売会社 東海東京証券株式会社)

アライアンス・バーンスタイン – American・インカム・ポートフォリオは世界各国で販売されており、アライアンス・バーンスタインを代表する債券ファンドの1つです。世界的な金利低下を受け、オーストラリアの金利も足元では低水準で推移しており、豪ドルで資産を効率的に増やしたいという投資家のニーズにお応えすべく、当ファンドを日本国内でも販売いたします。

当ファンドを通じて、より多くのお客様の資産形成のサポートができるよう、引き続き尽力して参ります。





ALLIANCEBERNSTEIN®

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011

東京都千代田区内幸町二丁目1番6号

日比谷パークフロント14階

TEL: 03-5962-9000(代)

www.alliancebernstein.co.jp

アライアンス・バーンスタインについて

アライアンス・バーンスタイン(以下、「AB」)は、世界各国において、機関投資家や個人投資家、個人富裕層に対して、高品質の研究と広い範囲にわたる資産運用サービスを提供する世界有数の資産運用会社です。運用プロフェッショナル514名(2020年9月30日現在)を擁し、様々な資産運用サービスを世界26カ国で提供しています。2020年12月末現在の運用資産総額は約70.8兆円です。ABには、アライアンス・バーンスタイン・エル・ビーとその傘下の関連会社を含みます。アライアンス・バーンスタイン・ホールディング・エル・ビーはニューヨーク証券取引所に上場しています。

アライアンス・バーンスタイン株式会社について

アライアンス・バーンスタイン株式会社は、ABの日本拠点です。1986年の拠点開設以来、個人投資家や機関投資家向けに投資信託や年金運用などの投資サービスを提供しています。2020年12月末現在の運用資産総額は約4兆7,965億円です。より詳しい情報は、<https://www.alliancebernstein.co.jp/>をご覧ください。

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第303号

加入協会:一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／日本証券業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

<ご留意事項>

当資料は、ニュースリリースとしてアライアンス・バーンスタイン株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、勧誘を目的に使用することはできません。当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更することがあります。当資料は、信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

お問い合わせ先:

アライアンス・バーンスタイン株式会社 マーケティング・コミュニケーション部

本間 康之(ほんま やすゆき)／中根 渉(なかね わたる)

TEL: 03-5962-9135



ALLIANCEBERNSTEIN®

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011

東京都千代田区内幸町二丁目1番6号

日比谷パークフロント14階

TEL: 03-5962-9000(代)

www.alliancebernstein.co.jp

アライアンス・バーンスタイン – アメリカン・インカム・ポートフォリオ
豪ドル建てクラス AA 証券(豪ドルヘッジあり)
ルクセンブルグ籍/オープン・エンド契約型外国投資信託/豪ドル建て

ファンドの特色

- 米国政府証券、投資適格社債、ハイイールド債券、新興国債券など、幅広い種類の米ドル建て債券に投資します。
- 組入資産のうち 65%以上は米国の発行体が発行する証券とします。原則、投資適格証券の組み入れは 50%以上とします。
- 通常、B 格相当を下回る証券への投資は行いません。
- 原則として、為替ヘッジを行うことにより、豪ドル・米ドル間の為替リスクの低減を図ります。

分配方針

管理会社は、総収益(報酬および費用の控除前)から得られる分配率に従って分配を毎月宣言し、毎月分配金の支払いを行う意向です。管理会社の判断により分配を行わない場合があります。

※上記は、将来の分配金の支払およびその金額について保証するものではありません。

投資リスクについて

ファンドは、その受益証券 1 口当たりの純資産価格が、組み入れられる有価証券等の値動きのほか為替変動による影響を受けて下落または上昇することがある外国投資信託であり、元本保証のない金融商品です。それゆえ、ファンドへの投資により、損失を被ることがあり、投資金のすべてを失うこともあります。ファンドは元本が保証されている商品ではありません。投資信託は預貯金と異なります。ファンドへの投資には市場リスク、金利リスクおよび為替変動リスクならびに当該証券への投資に伴うその他のリスクが伴い、ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。

(リスク・プロファイル)

ファンドは、金融デリバティブ商品を利用します。ファンドは、バリュー・アット・リスク・アプローチを用います。ファンドが投資する債券は、当該債券を発行する民間および公的機関の信用リスクを負っており、その時価は金利の変動により影響を受けます。ファンドの投資する債券は投資適格水準を下回ることがあるため、ファンドは、投資適格または同等の水準の債券のみに投資するファンドの場合よりも、高いリスクを負うことになります。非投資適格証券はまた、元利金を失うリスクがより高く、一般に、流動性がより少なくかつより不安定です。

【カントリー・リスク】

ファンドは、様々な国および地域に所在する発行体の証券に投資することができます。各国の経済は、国内総生産または国民総生産の成長、インフレ率、資本金の再投資、資源の自給自足および国際収支ポジション等の点に関し、有利・不利にかかわらず各々異なります。一般の発行体は、インサイダー取引規則、市場操作に関する制限、株主委任状要件および情報の適時の開示等の事項につき、様々な程度の規制を受けます。発行体の報告、会計および監査基準が、重要な点について国家間で著しく異なること等があります。国有化、収用もしくは没収による課税、通貨ブロック、政変、政府規制、政治的もしくは社会的不安定または外交上の展開により、ある国の経済または当該国へのファンドの投資が悪影響を蒙ることもあります。

【流動性リスク】

流動性リスクは、証券の種類、売却に対する制限および市況を含む様々な要因により発生します。流動性リスクは、ファンドが必要な期間内に買戻請求に応じる能力、現金を調達する能力、および/または、収益を分配する能力にも影響を及ぼすことがあります。



ALLIANCEBERNSTEIN®

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011

東京都千代田区内幸町二丁目1番6号

日比谷パークフロント14階

TEL: 03-5962-9000(代)

www.alliancebernstein.co.jp

【市場リスク】

多くの証券の価格および利回りは、広範囲にわたる要因に基づき、頻繁に、時として大きなボラティリティを伴って変動し、また下落する可能性があります。

【デリバティブ・リスク】

ファンドはデリバティブを利用することができますが、これは、その価値が裏付けとなる資産、参照レートまたは指数の価値に依拠または由来する金融契約です。投資顧問会社は、時に、他のリスクの軽減を企図する戦略の一環としてデリバティブを利用します。しかしながら、概して、ファンドは、収益を得るため、利回りを向上させかつ組入証券をさらに分散させるための直接的投資としてもデリバティブを利用することがあります。取引の相手方の信用リスク等のその他のリスクに加え、デリバティブはプライシングおよび評価が困難となるリスク、ならびにデリバティブの価値の変動が関係する裏付け資産、レートまたは指数と完全に連動しないことがあるリスクを伴っています。

【債券および金利】

債券に対するファンドの投資の価値は、一般的金利水準の変動につれて変化します。金利低下局面では債券の価格は一般に値上がりするものの、金利の低下が景気後退の前兆とみなされる場合には組入証券の価格は金利とともに下落することがあります。反対に、金利上昇局面では債券の価格は一般に値下がります。金利の変動は、満期までの期間およびデュレーションが短い債券に比べ、これらがより長期である債券により大きな影響を及ぼします。

【為替変動リスク】

ファンドは、豪ドル・米ドル間の為替変動リスクを低減するために、米ドル売り・豪ドル買いの為替ヘッジ取引を行います。ファンドの基軸通貨である米ドルと取得申込通貨である豪ドルとの間の為替レートの変動による影響を減らし、米ドル建てのリターンとより密接に連動するリターンを提供することを目的とするため、為替ヘッジにより、豪ドル・米ドル間の為替エクスポージャー（米ドル建資産を保有することによって、米ドルの為替変動リスクにさらされている資産の度合いをいいます。）の低減に努めますが、かかる為替ヘッジが完全に有効であるとの保証はありません。通常、米ドルの短期金利が豪ドルの短期金利より高い場合は、金利差相当分のヘッジコストがかかります。

【信用リスク-ソブリン債】

ソブリン債に投資することにより、ファンドは、様々な国の政治、社会および経済の変動の直接的または間接的結果にさらされます。ある国の政変において、当該国の政府の債務の適時支払を実行または準備しようとする積極的対応に影響することがあります。特にインフレ率、対外債務の額および国内総生産に反映される国家の経済状態はまた、政府の債務返済能力に影響を及ぼします。

(注)ファンドのリスク要因は上記のものに限られません。詳細は、請求目論見書の該当箇所をご参照ください。

お客様にご負担いただく費用

購入時の費用

【申込手数料】

購入(申込)手数料は、申込日の1口当たり純資産価格に、5.5%(税抜5.0%)を上限として販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

間接的にご負担いただく費用

【管理報酬】

ファンド証券の日々の純資産総額の平均額の年率 1.10% ※管理報酬には投資顧問報酬、販売取扱報酬、代行協会員報酬が含まれます。

【管理会社報酬】

ファンド証券の日々の純資産総額の平均額の年率 0.10%

【保管報酬、管理事務代行報酬および名義書換代行報酬】



ALLIANCEBERNSTEIN®

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011

東京都千代田区内幸町二丁目1番6号

日比谷パークフロント14階

TEL: 03-5962-9000(代)

www.alliancebernstein.co.jp

管理事務代行報酬、保管報酬および名義書換代行報酬は、ルクセンブルグの一般的な慣行に従い、ファンドの資産から支払われます。当該報酬は、資産ベースの報酬と取引費用の組み合わせです。管理事務代行報酬、保管報酬および名義書換代行報酬はファンドの純資産総額に基づいて計算される年率 1.00% を上限とする額とします。(保管報酬には、別途請求される取引銀行費用、その他税金、仲介手数料(もしあれば)および借入利息は含まれません。)

【その他の費用(*)】 その他費用として、ファンドの運営・管理・取引費用、ファンドの資産および収益に課せられる税金(ファンドの純資産総額に対して課せられる年率 0.05% の年次税がありますが、これに限られません。)、監査報酬、弁護士報酬、以上に類似するその他すべての管理費用等を、ファンドより間接的にご負担いただいております。その他費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

注) 投資者が一会計年度に負担する報酬および費用の総額は、豪ドル建てクラス AA 証券(豪ドルヘッジあり)に帰属するファンドの平均純資産総額に対する年率 1.5% を上限とし、その上限率を超える報酬および費用※は、管理会社が自発的に負担します。

※ルクセンブルグ年次税以外の税金、仲介手数料および借入利息は含まれません。

*お客様にご負担いただく費用等の合計額については、申込金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

※詳細については投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご参照ください。

関係法人の概要

【管理会社】

アライアンス・バーンスタイン・ルクセンブルグ・エス・エイ・アール・エル

【投資顧問会社】

アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー

【保管銀行および管理事務代行会社】

ブラウン・ブラザーズ・ハリマン(ルクセンブルグ) エス・シー・エイ

【名義書換代行会社】

アライアンス・バーンスタイン・インベスター・サービスズ(管理会社の一部門)

【代行協会員】

アライアンス・バーンスタイン株式会社

金融商品取引業者関東財務局長(金商)第303号

【加入協会】

一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／日本証券業協会／一般社団法人第二種金融商品取引業協会

以上